

# 自然科学と良心

## — 科学者の良心が問われる時代の中で —

近年、研究者の不正行為が社会的な関心を引いたり、また、民生用と軍事用の両方に利用可能なデュアルユースの科学研究の是非が問われてきました。自然科学の発展、その技術的な応用は、人類社会に大きな貢献をしてきた一方、人体実験・優生思想や原子爆弾の開発に代表されるように、人の生存を著しく脅かした歴史も有しています。必ずしも価値中立的ではあり得ない科学研究の今後を「科学者の良心」の視点から展望します。

入場無料・事前申込不要

● 日時：2017年 **6月6日** (火) 16:40 — 18:40

● 場所：同志社大学 京田辺キャンパス ことば 言館 チャペル

● 講演：

林田 明（同志社大学 理工学部 教授）

貫名信行（同 脳科学研究科 教授）



司会：小原 克博（同志社大学 神学部 教授、良心学研究センター長）

コメンテーター：

武藤 崇（同志社大学 心理学部 教授）

廣安 知之（同志社大学 生命医科学部 教授）

■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

CONSCIENCE

E-mail: [rc-csc@mail.doshisha.ac.jp](mailto:rc-csc@mail.doshisha.ac.jp) <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

**良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践** 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。